

| No. | 特に良いと思う点     |  |
|-----|--------------|--|
| 1   | タイトル         | 職員の知識や経験と社会福祉協議会の機能を十分に発揮しながら、利用者が高齢化していく中で、その人に合った支援に努めている  |
|     | 内容           | 利用者の平均年齢が約40歳、平均利用年数は16年を超えている。障害程度区分の最も重い人が75%で全員が車椅子を利用している。利用者とともに保護者の高齢化への対応が課題になってきている。こうした状況の中でも、利用者の状況をよく知る職員が、一人ひとりの利用者へ寄り添った支援を実践しており、利用者の精神的な安定が保たれている。また、保護者の高齢化に伴って将来的に必要な支援についても、事業所を運営する社会福祉協議会の機能を十分に発揮して、必要な情報を提供したり、関係機関を紹介するなど、必要なサポートをしている。 |
| 2   | タイトル         | 利用者が主体性を持って事業所で充実した時間となるように、外出や活動の選択、意思決定が可能となる場面を多く設けている  |
|     | 内容           | 様々な活動を行なう際は、利用者・家族への意思確認することに留意し、無理強いすることのない支援に努めている。朝の会では利用者が司会・進行を努め、当日の出席者の点呼等を行なっている。更に毎月、利用者サミットを開いて、2グループに分かれて「何をしたいか、何をやるか」を話し合っ月々の予定を決めている。日々の活動でも利用者話し合っ進行する等、利用者主体の支援に努めている。様々な過程でその一員としての生活を営むことに自信を持てるように支援が行なわれている。利用者が自己肯定感の積み重ねが出来るような支援に努めている。 |
| 3   | タイトル         | 法人が運営する事業と連携しながら、ボランティアの受け入れや体験学習、地域住民参加の行事等を通して地域との交流の機会を設けている  |
|     | 内容           | 法人の事業運営の性質上、地域との連携が強く、当事業所も法人の事業と連携しながら地域交流を積極的に行なっている。地域の人々との交流を図ると共に、当センターの事業を紹介し、障がい者の理解を深めることを目的に、センターまつりを開催している。まつりには近隣自治体や各種団体、ボランティア等に協力を呼びかけ、模擬店や催しものを行ない利用者をもとより地域の人々も楽しめる企画になっている。また、ボランティア活動に関心がある学生や社会人の体験の場や近隣の小・中学校と連携し福祉教育の体験学習の場として受け入れている。    |
| No. | さらなる改善が望まれる点 |  |
| 1   | タイトル         | 職員の負担軽減や業務の効率化を通じて、職員に魅力のある職場環境を作っていくことに期待したい  |
|     | 内容           | 職員の平均在職年数が長く、年齢も高くなってきている。今後、世代交代の時期を迎え、若い人材の確保が課題となっている。また、今回の職員自己評価結果では、「時間内に業務が終わらない」といった意見も見られた。職員の負担の軽減を図りながら、若い職員が魅力を感じる職場環境を作っていくことが必要になってきている。職員全体で、業務の効率化や職員の負担軽減につながる検討を進めていくことに期待したい。また、ICTについても積極的に検討していくなど、今後のさらなる検討に期待したい。                       |
| 2   | タイトル         | より多くの人に利用してもらおうことができるよう、さらなるPRや魅力ある活動の充実を図っていくことに期待したい   |
|     | 内容           | 特別支援学校の卒業生の進路の選択肢が増えており、当事業所と並行通所を希望する方も増えている。事業所においては、積極的なPR策を講じるとともに、魅力のある活動メニューを充実させることが必要になっている。現在、実施している様々な情報提供の取り組みに加えて、活動の様子を動画などを活用し、より分かりやすく紹介していくことも必要と思われる。より多くの人に利用してもらえよう、さらなる取り組みを検討していくことに期待したい。  |
| 3   | タイトル         | 現在作成しているマニュアルの見直しを通じて、日常業務の標準化をさらに進めていくことに期待したい  |
|     | 内容           | 事業所では、新入職員向けの入浴支援、食事支援の介助に関する手順書、感染症対応の手順書、ケガ・病気の連絡の仕方などの各種マニュアルを整備している。緊急時に適切に対応できるように、緊急時連絡表も作成している。これらのマニュアルについては、見直しの実施時期や担当者などを、より明確にすることにより、日常業務の標準化をさらに進めていくことに期待したい。   |